

# 2022年度 事業報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日)

特定非営利活動法人 はなはな ひろば  
理事長 吉田 亜希子

## 1. 事業活動報告

特定非営利活動法人 はなはなひろばの第16期目の活動は、2022年4月1日から2023年3月31日の12か月である。

期末現在の会員数は、25名(この内休会会員は4名)、賛助会員数は11名である。

期中の新規入会会員は5名、脱退会員0名である。

## 2. 事業内容

＜特定非営利活動に係る事業＞

### I) 親と子のつどいのひろば事業

- ほっと安心できる子育てひろばとして、0歳から未就学児とその養育者がいつでも自由に集える場の提供を目的とする。
- ひろばの利用料は1家族1日100円。同じ日に再来することがあっても、一度受け付けていれば利用料はもらわない。
- 月曜日から金曜日までの平日は毎日、偶数月の第2土曜日、奇数月の第3土曜日も開設した。毎週月曜日と水曜日の午前中を“赤ちゃんタイム”とし、主によちよち歩きまでの子どもと養育者だけがゆっくり過ごせる時間帯にした。
- 日本語が理解しづらい利用者のために、英語版の利用のしお리를用意している。
- 日常のひろば活動の他に養育者の希望も取り入れ、コロナの感染状況を見ながら月2回程度のイベントを開催した。
- 養育者の育児負担の軽減を図るため、6カ月から未就学の子どもを対象に一時預かりを行った。
- 地域に関係なく何処からでも発信できることや、何らかの事情でひろばへ足を運びづらい養育者のために「子育てメール相談」窓口を開設している。希望がある時や必要と思われる時には面談も行った。
- コロナ禍が収まらない中でのひろば運営にあたっては感染予防を最優先にした。
- この事業は、横浜市「親と子のつどいのひろば事業」としての委託を受けている。当期、委託金額は8,145,000円(うち一時預かりに関わる補助金は1,689,000円・家賃補助720,000円・研修代替職員配置加算分44,000円)。

### ④ 日常ひろば活動

活動状況は次の通りである。

通常ひろば活動日数：236日(2023年2月7日は降雪のため午後を休館)

利用組数：1,359組 利用人数：2,904人(内新規114組237人)

#### a) 利用者の受け入れ

- ◇ スタッフは子育て中の親が安心して寛げるよう心掛け、初めて来所した親子には、ひろばに打ち解け易いように意識的に働きかけ、居合わせた利用者に紹介した。また、リピーターの親子は新規の利用者に声掛けをして気持ちを和ませる役割をしてくれた。
- ◇ 来所した利用者を快く受け入れ、利用者の話は内容に関わらず、しっかり聞くようにした。

- ◇ ひろばを利用する親同士が情報を交換し合うなど、ひろばでの出会いが新たな交流に繋がっていた。
- ◇ 気がかりな親子について保健師さんとやり取りをしながらサポートをした結果、その親子の通常利用に繋がった。
- ◇ 来所を予定している親子が確実にひろばに来られるよう、前日に利用予約ができるようにした。

b) コロナ感染症の予防対策

- ◇ スタッフは勿論の事、利用者にもマスク着用・手洗い・検温をし、定期的な換気を徹底した。
- ◇ 利用は午前と午後で定員を設けた入れ替え制にし、開所時に加え昼の入れ替え後と午後の終了時にひろば設備等の消毒をした。
- ◇ 昨年度に続き、ひろば内では利用者の食事やおやつ時間は持たないことにした。

c) 広報活動

- ◇ ひろばの情報をより早く広く伝えられるよう、ホームページの他に SNS を有効に活用した。中でも公式 LINE の導入は有効であった。
- ◇ 区役所・保健センター・地区センターなど地域の子育て支援に関わる機関や赤ちゃん訪問員の方にチラシを配ってもらう等で「はなはなひろば」の紹介や宣伝をしてもらえた。
- ◇ 区役所での4ヶ月健診時に、鶴見区の拠点と同区の「つどいのひろば」とが協力して各々ひろばのチラシを配った。その結果ひろば利用に繋がった親子もいた。
- ◇ 地域の子育て関連施設のチラシをひろば内に掲示、配架、または利用者到手渡しをして情報提供した。

広場利用実績

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
総開催日数	236日	236日	202日	220日	239日	236日
利用者数	2904人	2,480人	3,381人	3,650人	4,617人	5,663人
1日平均	12.3人	10.5人	16.7人	16.6人	19.3人	24.0人

2022年度月別利用状況は以下のとおりである

月別利用状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	利用組数		103組	78組	92組	88組	122組	95組
利用人数		227人	161人	194人	190人	277人	204人	202人
月別利用状況	月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
	利用組数		143組	131組	130組	130組	149組	1,359組
利用人数		294人	284人	281人	272人	318人	2,904人	12.3人

- ◇ 母親以外の保護者が利用するケースも増えた。(父親・祖母など)
- ◇ ホームページで知ったという以外に、友人からの紹介やひろばの前を通った時に気になり来所した親子がいた。
- ◇ 小さいうちから子どもが保育園に入るようになってきているので来所する子どもが低年齢化している。
- ◇ 昨年度と開設日数は同じだが利用者は増えた。(前年度比約 1.17%増) 感染症対策緩和の影響と思われる。

## ⑤ イベント

年間に催したイベントは次の通りである。

日常の活動を大切にするためになるべくイベントの回数を抑えるようにしたが、コロナ禍で利用者が楽しめる機会を増やすために感染状況を見ながら、今年度も月に2回程度開催した。

- a) 月に一度「保育士さんと遊ぼう」と題して、近隣の保育園から保育士さんにひろばへ来所を願い手遊びやお話しに加えて、子どもの発達に応じた手作りのおもちゃの紹介などをしてもらった。参加した親子は次回を楽しみにしていた。
- b) 「絵本とともだち」は毎回参加希望者が多い。季節感のある工作や絵本の読み聞かせ・ペーパーサートなど多彩な内容で子供に飽きさせないよう工夫されていた。子どもが楽器に触れる時間も取ってもらった。
- c) 「親子体操」は参加する子どもの低年齢化に加えてコロナ対策もあり、講師と相談の上、途中から内容を見直した。激しい動きを避け赤ちゃんも一緒に居られる内容にして「ママストレッチ」というタイトルに変えた。
- d) 「はなはなひろば」の活動に賛同した人が月に1～2回ボランティアで来所し、その日の子どもの様子を見ながら絵本の読みきかせなどをして親子を楽しませてくれた。[おはなし会]
- e) 「ベビーマッサージ」は、講師から個々のマッサージの意味や効果などの説明もあった。また、参加した親子それぞれへの対応もしてもらえた。
- f) プレママ・プレパパ向けに助産師さんに来所頂き、沐浴体験と産後の心身のケアについて話してもらった。結果、参加者は産後の生活が少しは予測できた様子だった。一方、育児が始まってからの息抜きの場として「親と子のつどいのひろば」を知ってもらうことが出来た。
- g) 鶴見区の保育・教育コンシェルジュによる保育園・幼稚園選びについての説明会は、分かりやすいお話と参加者からの質問への対応が好評だった。
- h) 「英語であそぼう」は講師の復帰で3年ぶりの開催となった。
- i) スタッフの考案で、母親が思い出の布を使って巾着の手づくりを楽しんだ。
- j) 「夏祭り」と「開設記念イベント」は今年度は単独のイベントとして大掛かりなものではなかった。夏にはお祭り気分を味わってもらえるように、11月のひろばの開設記念日前後にはお祝い代わりに一定期間、内容に工夫を凝らしたゲームや工作コーナーを設けて利用者に楽しんでもらった。
- k) その他  
 「誕生会」に代わって、誕生日を迎える子どもに折々に写真と手形をプレゼントし、その場に居合わせた親子とスタッフが歌を歌って成長を祝った。

### イベント回数と参加人数

保育士さんと遊ぼう 12回 (64組 135人)	絵本とともだち 5回 (30組 70人)	おやこ体操 3回 (5組 10人) ※1回
ママストレッチ 3回 (12組 24人)	おはなし会 14回 (59組 123人)	ベビーマッサージ 6回 (32組 66人)
プレママ 1回 (7組 14人)	保育・教育コンシェルジュ 1回 (5組 10人)	英語で遊ぼう 1回 (4組 9人)
巾着作り 1回 (3組 6人)	夏祭りコーナー 8/23～27日 (27組)	開設記念イベント週末所数 11/14～19日 (42組 89人)

※中止した回数

合計 47回 (221組 467人) 夏祭り・開設記念は人数に含めていません。

### ㉔ 一時預かり

今年度の一時預かり実績は次の通りである。累計登録者数は3月末まで592名（今年度は42名）となっている。

一時預かり活動日数：236日

- a) 預かり時のスタッフ体制は1人の子どもに対して必ず1人のスタッフを配置し、安全に細心の注意を払った。
- b) 預かり登録数は増えつつあるが実際に利用するところまで至っていない親子もいる。
- c) 他の子どもの預かりの様子を見て、利用を迷っている親が自分も預けてみようという気持ちになれるよう働きかけた。
- d) スタッフの多くが預かりを担当するようになった。
- e) 預かりの時に気付いた課題についてはその都度話し合いの場を持ち、スタッフ全員が共通認識を持つようにした。
- f) 個人情報である事を前提に、事情を抱える親子についてはスタッフ全員に周知し、預かりの際には落ち度のないよう細心の注意を払った。
- g) 親の事情で急に預かりを依頼された時はできる限り要望に添えるようにした。
- h) 預かり中は、通常のスタッフも積極的に預かりの子どもや担当スタッフへの気配りをした。
- i) 預かりのある時に居合わせた親子とも、預かりの子に優しく気持ちを寄せてくれていた。
- j) 一度預かりを利用すると繰り返し利用する保護者が多かった。
- k) ひろば利用者数は昨年度より増えているが、預かりについては前年度比で利用者は約70%、利用時間は約54%となっている。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	13人	5人	6人	8人	16人	9人	7人
総利用時間	28.5時間	5.5時間	16時間	15時間	34時間	26.5時間	17時間
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
利用者数	7人	8人	4人	8人	19人	110人	157人
総利用時間	16時間	19.5時間	8.5時間	20時間	56.5時間	263時間	482時間

### ㉕ 子育てメール相談

- a) 以前にひろばを利用していた方以外はメール相談は無かった。昨今は様々な相談ツールが増えている為だとも考えている。
- b) 初めての子育てでは、経験者から見ればほんの些細に思える事柄でも、様々な子育てに関する情報が溢れているためにかえって不安を抱いてしまう場合がある。そのような時に話せる人がいなかったり、また自分から直接相談に出掛けにくい場合の相談ツールのひとつとして窓口の開設を続けてきた。

## II) おでかけ広場

近くに“おやこのひろば”のようなくつろげる場がない親子のために、鶴見区社会福祉協議会との共催で同社協の一室で「おでかけ広場」を開設した。(感染症予防のため利用できる組数を決めての開設となった)

月 2~3 回、主に金曜日の午前 10 時~12 時の 2 時間。

開設：31 回 利用人数 161 組 328 名 (1 回平均 前年度比 1.76 倍)

- 利用する親子は、生麦にある「はなはなひろば」までは足を延ばしづらいが「おでかけ広場」なら通いやすいので利用していた。
- 「おでかけ広場」の利用をきっかけに「はなはなひろば」まで来たり、イベントに参加する親子もいた。

## III) 新しいひろば

- 現在、鶴見区にある親子のひろば(拠点、サテライトと 4 か所のつどいの広場)だけでは、足を運びづらい親子がまだまだ居ると思われる。岸谷を中心とした地域に第二のはなはなひろばの開設を目指し物件探しに八方手を尽くしたが横浜市の条件に合う物件が見付からず、開設申請を断念せざるを得なかった。

## IV) 地域との交流

- 元ひろば利用者や近隣の方々からの好意で使わなくなった子供服やおもちゃ等の提供を受け、ひろばを利用する親子に使ってもらったり、フリーマーケット用などに充てた。
- 同じ地域で活動している「NPO 法人 生麦こども食堂」との交流が続いている。
- 鶴見区の「NPO 法人ままっぷ」の活動に協力し交流した。(「ウエルカムベビープロジェクト」の広報と応募した母親へのプレゼント受け渡し)
- 近隣の保育園や子育て中の親の会などから、会の案内やイベント等の情報を寄せられた。
- 地元自治会と交流し、ひろば活動に関する情報提供を受けた。

# 貸借対照表

2023年3月31日 現在

特定非営利活動法人 はなはなひろば

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	33,849	
預金合計	4,312,015	
流動資産合計	4,345,864	
2. 固定資産		
固定資産合計	0	
資産合計		4,345,864
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	548,238	
2. 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計		548,238
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	3,394,051	
当期正味財産増減額	403,575	
正味財産合計		3,797,626
負債及び正味財産合計		3,797,626

## 2022年度 活動計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 はなはなひろば

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 経常収益		
1 受取会費 正会員受取会費（賛助会費含む）	118,200	
2 受取寄附金 受取寄附金	224,800	
3 受取助成金等 受取補助金（横浜市子育て支援課）	8,785,000	
4 事業収益 利用料、一時預かり利用料	257,841	
5 その他収益 受取利息 雑収入	33 2,015	
経常収益計		9,387,889
II 経常費用		
1 管理費		
(1) 人件費 給料手当 人件費計	4,867,600	
(2) その他経費 旅費交通費 交際費 公租公課 事務用品費 謝金 修繕費 消耗品費 新聞図書費 水道光熱費 送金料 諸会費 家賃 賃借料 通信費 保険料 印刷費 会議費 備品費 雑費 その他経費計	548,777 49,524 600 100,000 324,000 416,296 7,743 144,040 3,905 17,375 2,040,000 5,100 66,438 72,830 100,036 21,551 187,199 1,200	
管理費計		4,106,614
経常費用計		8,974,214
当期経常増減額		
III 経常外収益		
経常外収益計		
IV 経常外費用 雑損失	-10,100	
経常外費用計		
当期正味財産増減額		403,575
前期繰越正味財産額		3,394,051
次期繰越正味財産額		3,797,626